

アジア発創薬のためのオープンイノベーション ～韓国への期待～

第11回日韓合同セミナー

2013年7月3日

APAC DA-EWG

渡辺敬介

(Keisuke Watanabe)

第1回APAC 合意事項

1. ミッション

「革新的な医薬品をアジアの人々に速やかに届ける」

2. ゴール

ミッションの実現に向け、各国の課題に関する情報共有を図り、「アジア製薬団体連携会議（APCPA）」として必要な提言を発信するためのplatformを構築する。

各国協会は、医薬品に関する課題に対する解決策を、当該国政府を含むステークホルダーへ提言する。

3. 主なテーマについて

(1) 規制・許認可・アジアにおける医療用医薬品の早期申請・早期承認の実現に向けた提言

国際基準 (global standard) 品質の医薬品の安定供給

(2) 創薬連携

“アジア発創薬”実現のための、アジアにおけるopen innovationの推進

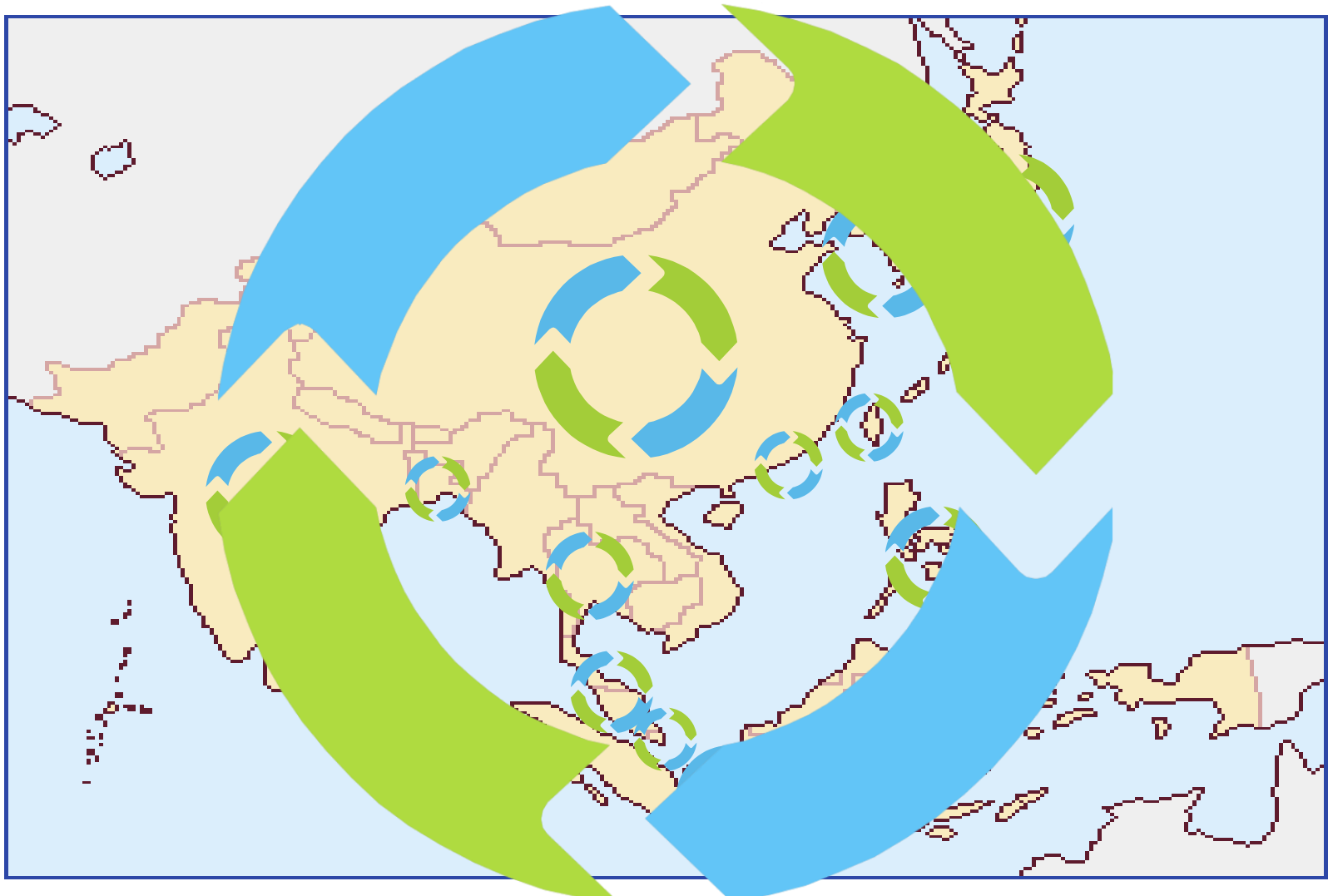
第2回 合意事項

創薬連携

- ・『アジア発創薬』実現のため、各国の創薬力構築・向上に向けたオープンイノベーションのプラットフォーム構築の一環として、情報交換、ネットワークの構築、人材交流から開始し、アジアの産官学・ベンチャーが協働できる環境を整備する。短中期目標は、アジア各国における創薬能力の向上を志向するオープンイノベーションのプラットフォームの形成である。
- ・アジアにおける国境を越えたパートナーシップ促進のため、アジア地域の創薬関係シンポジウム、カンファレンスを活用してオープンイノベーション推進活動を進める。

アジアにおけるオープンイノベーションの目的は？

オープンイノベーションを通じたアジア各国における創薬開発力の強化



国家政策としてヘルスケアイノベーションやバイオテクノロジー推進を 取り上げている国が多く、バイオクラスターが多数誕生している

アジア各国の国家施策とその一例

	国家施策	バイオクラスター
日本	2010年6月策定の「新成長戦略」にてライフ・イノベーションとして7つの国家施策のひとつに選ばれる	構造改革特区や各自治体を中心とした地域クラスター構想に沿って、集積が進む
韓国	「Bio-Vision 2016」で、バイオ産業の発展・グローバル化等を通じ、当分野の競争力強化を明確に掲げる	3つの地域(Zone)にまたがって、計16か所のバイオクラスターが存在しており、国際協調も進む
中国	「第12次五カ年計画(～2015年)」において、戦略的新興産業として7分野を指定。そのひとつにバイオテクノロジーがあり、バイオ医薬品もその主要項目に挙げられている	地方都市中心に研究施設が集積、公的財源投資も多い
シンガポール	半導体、情報処理、バイオなどのハイテク技術のR&D・製造基地としての機能強化のため、バイオポリスなどを展開	「バイオポリス」に代表される取り組み
タイ	国家科学技術戦略計画(～2013年)において、医薬品に係る研究助成等の施策を展開	国家科学技術戦略計画の主要戦略に沿った取り組みが進む(タイ・サイエンスパークに代表される取り組み)
台湾	政府の「六大新興産業アクションプロジェクト」の中にバイオ医療があり、官民出資VCの設立や、インキュベーションセンターの構築が進む。「バイオ医薬産業発展条例」により、バイオ医薬品会社(BV)には、時限的な税制優遇も	バイオインキュベーションセンターを中心としたバイオ産業クラスターやバイオパークの建築が、国家による後押しで進められる
マレーシア	「第10次マレーシア計画(～2015年)」では、「12の国家主要経済領域」から漏れたが、新たに策定された8つの新開発戦略の7番目、「成長産業の開拓」で医薬品を掲げる	2000年代初頭にマハティール首相(当時)が「バイオバレー・マレーシア」構想を提唱。 主に食品分野が中心だが、医学分野でも高等教育機関を中心に集積が進んでいるという情報もある
インド	策定が進む「第12次五カ年計画(2012年4月～)」では、前五カ年計画を踏襲、ヘルスケア公共投資拡大が続く見込	前五カ年計画の第3の行動計画として、バイオクラスター形成によるイノベーション促進を掲げている。現在、国内3地域にBT分野のクラスターがある
香港	中国と同様の取り組み	香港サイエンスパークに代表される取り組み

他のアジア諸国においても、バイオ関連産業の振興がそれぞれ進められている

DA-EWGが活動してきたこと

1. コンセプトペーパーの作成
2. 各国における中心施設の特定
3. プラットフォーム構築のための各国ニーズ調査
4. ニーズに対するより深い考察のための代表団の派遣
5. 各国のニーズに応じたプラットフォームの構築

Chapter 1

コンセプトペーパーの作成

Our Open Innovation

-Concept Paper for APAC's DAEWG-

- APACとは？
- オープンイノベーションとは何か？
- 創薬とは何か？
- DAEWGとは何をするグループか？
- APACのオープンイノベーションとは何のことか？
- オープンイノベーション・プラットフォームの創り方は？
- 何故、今、創薬およびオープンイノベーションを推進するのか？

Our Open Innovation

-Concept Paper for APAC's DAEWG-

創薬とは何のこと？

創薬とは、治療の標準物質を見出したり、新規治療薬を開発するプロセスを指します。創薬連携専門家ワーキングチーム(DA-EWG)は、新旧の手法による医薬品開発、および病気のメカニズムや科学的探究も含めた創薬に対する幅広い支援活動を行います。

Our Open Innovation

-Concept Paper for APAC's DAEWG-

創薬連携専門家ワーキングチームとは何？

- ・アジア諸国（中国、インド、日本、韓国、香港、マレーシア、台湾、タイ／ABC順）からの任意参加
- ・アジアにおける患者の健康回復のために行う創薬活動を実現化するための支援活動を行う
- ・専門家ワーキングチームは、アジア発の革新的な新薬を創薬し、アジアの人々へ速やかに届けるために必要なオープンイノベーション・プラットフォームの構築を推進する

Our Open Innovation

-Concept Paper for APAC's DAEWG-

APACのオープンイノベーションとは

ミッション

オープンイノベーションを通して、アジア経済圏内での創薬を実現するために

ビジョン

APACは、患者の要望を満たすための創薬活動を促進するためにオープンイノベーション・プラットフォームを設け、アジア横断の協働開発支援する

Our Open Innovation

-Concept Paper for APAC's DAEWG-

オープンイノベーション・プラットフォームの創り方は？

- ・創薬に対する、能力および専門知識の多様性を考慮する
- ・アジア各国政府の経済政策を考慮し、政府と産業およびアカデミアの間で行われる経済支援活動や共同研究活動を支援する
- ・オープンな創薬プラットフォームを構築する
- ・専門家ワーキングチームは、各国にある様々な研究機関へのゲートキーパーとして、また、ステイクホルダーとして最適な方法で創る努力を図ります

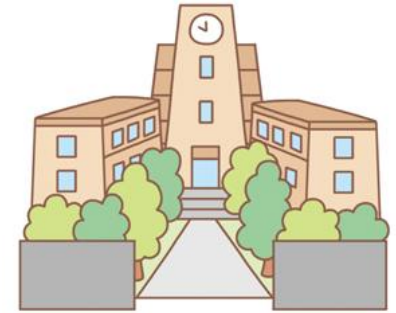
Chapter 2

各国における中心施設の特定

オープンイノベーションのための協力関係構成図



政府
ライフサイエンス予算



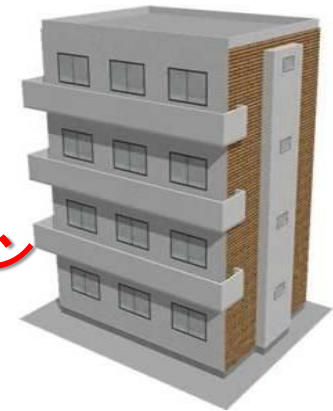
アカデミア

オープンイノベーション



国立研究機関








オープンイノベーション



ベンチャー企業

中心施設

創薬連携による国立研究機関への参画

	Japan	China	Korea	Taiwan	Malaysia	Thailand	India
							
グローバル 研究開発型 製薬団体	JPMA	RDPAC	KRPIA	IRPMA	PhAMA	PreMA	OPPI
国内 研究開発型 製薬団体	—	SINO-PhIRDA	KPMA	TRPMA		TPMA	
国立 研究機関	NIBI	SIMM		DCB	BIOTECH-CORP	TCELS	NCBS
アカデミア				Academia Sinica			

Chapter 3

プラットフォーム構築のための の各国ニーズ調査

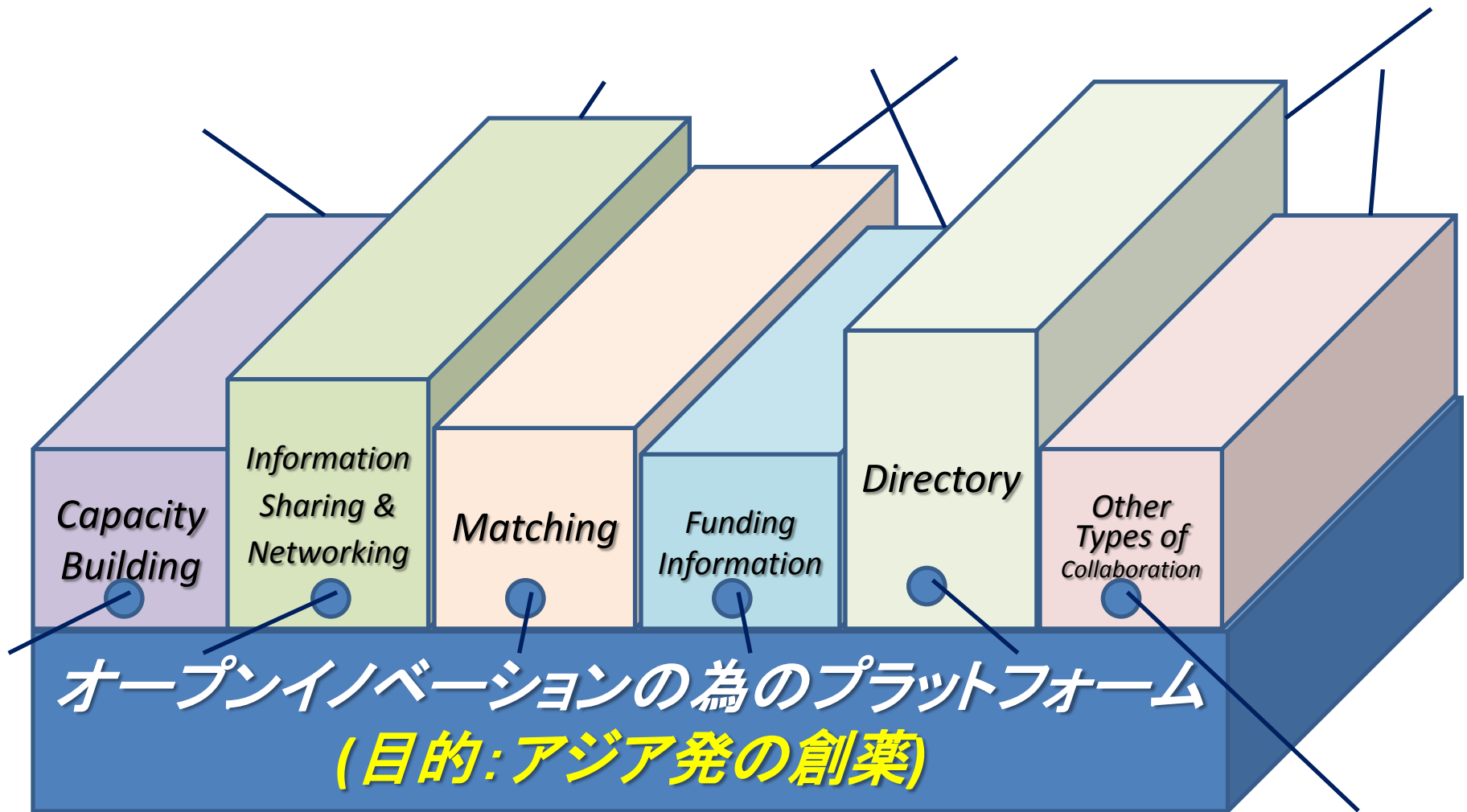
プラットフォームとは何？

東京駅



プラットフォームとは、同じ目的を共有する人々が
目的達成のために集まる場所

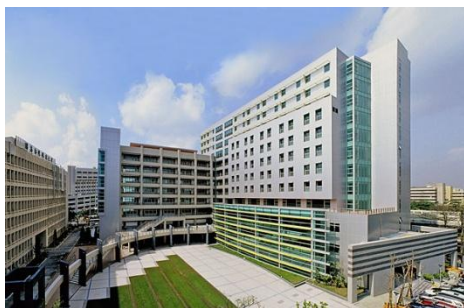
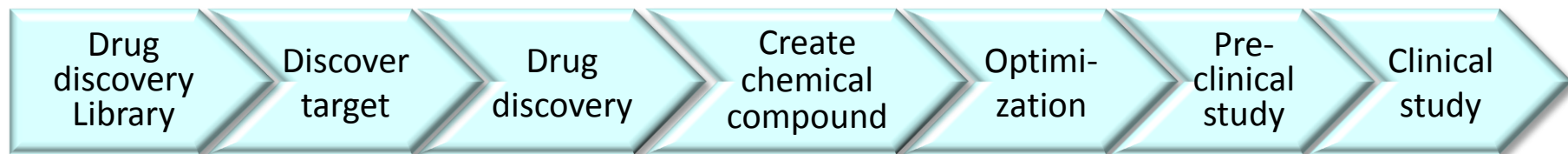
アジアにおけるオープンイノベーション のためのプラットフォームとは？



Chapter 4

**ニーズに対するより深い考察
のための代表団の派遣**

日本からDA-EWG代表団が台湾の代表的な研究機関を訪問 両者有益な成果を得た 事例紹介



アカデミアシニカ



バイオテクノロジー開発センター



ベンチャー会社



国立台湾大学医学部

J-DA-EWG Taiwan
代表団訪問

Chapter 5

各国のニーズに応じた プラットフォームの構築

台湾での必要性和プラットフォーム(案)

必要性	プラットフォーム	具体策
台湾の物質や企業情報の共有化	Information Sharing	バイオ協会のwebによる共有化
他国の研究者等との情報交換	Networking Opportunity	Bio Japan, Bio Taiwanでセッションの開催
研究者の能力レベルの向上	Capacity Building	?

国際展示会では革新的技術やライフサイエンス企業と 接する機会が得られます

Bio Taiwan 2013 Conferences & Exhibition

日程: 2013年7月18日(木) - 21日(日)

会場: 台北世界貿易中心南港展覽館

- BioBusiness Asia Symposium & Partnering (Jul. 17-18)
- BioTaiwan Exhibition & Conferences (Jul. 18-21)



BioJapan2013 - World Business Forum

日程: 2013年10月9日(水) - 11日(金)

会場: パシフィコ横浜

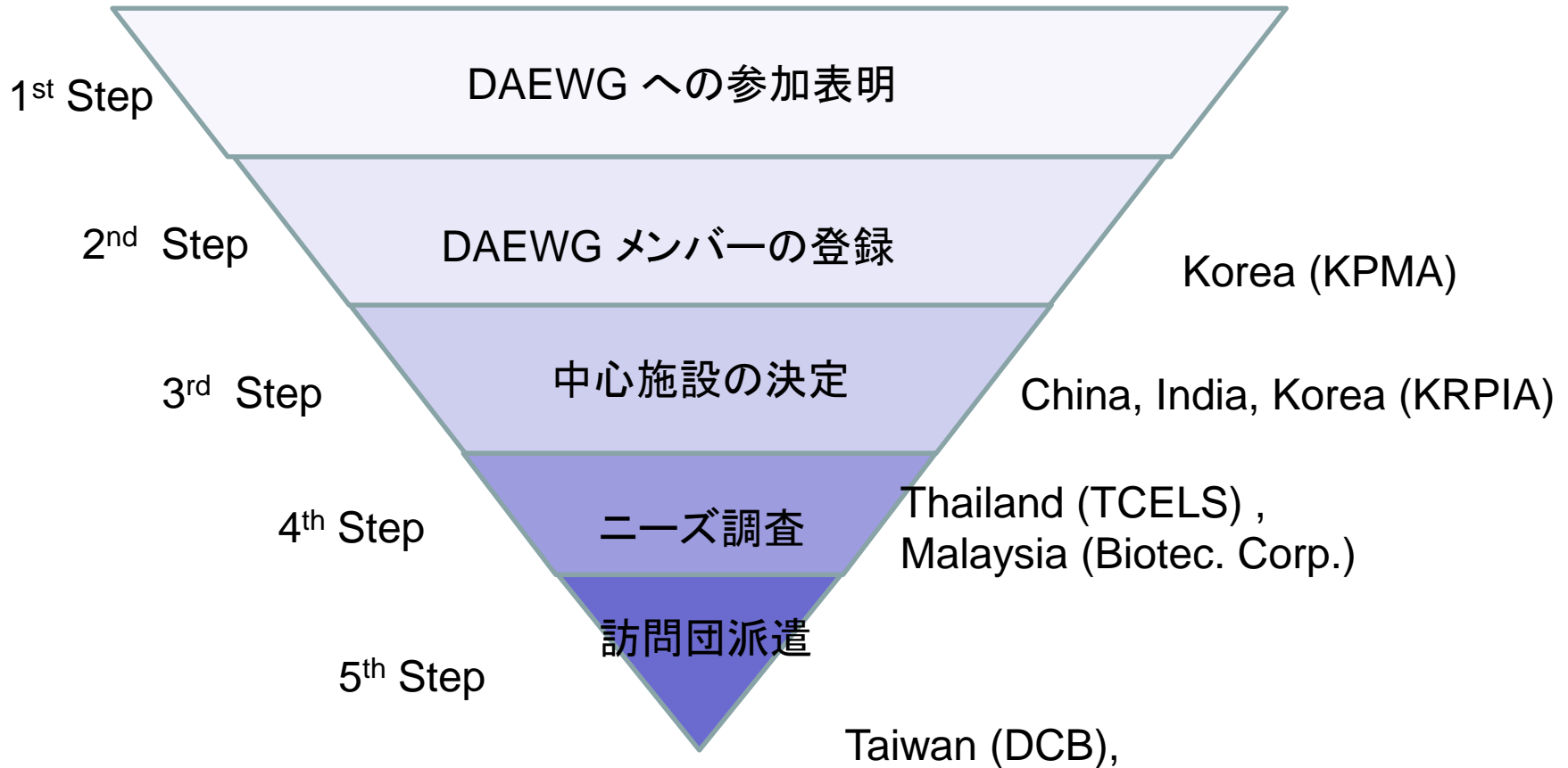


<http://www.biobusiness-asia.com/2012/>

<http://www.ics-expo.jp/biojapan/en/index.html>

創薬連携へのステップ毎の目標と現状

APAC SC
18th Jan. 2013



中短期の
最終目標

プラットフォームの設立！

アジア発創薬のためのオープンイノベーション ～韓国への期待～

- アジアでのグローバル化のリーダーとして期待
- 『選択と集中』をアジア発創薬にどう生かしていくかに関する戦略上のアドバイス
- バイオクラスター整備などによる、韓国発創薬の機運の活用

ご清聴ありがとうございます